

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2011.11.28

No.2017
No.17



出席率	会員49名中34名
先々週の出席率	91.11%
先週の メイクアップ	11/24 三条東R Cへ 荏澤喜一郎君 野島廣一郎君 坂井範夫君 佐々木常行君 田中悌司君 坪井正康君



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
鈴木 園彦

皆さん、こんにちは。ご挨拶申し上げます。

去る21日、当クラブ会員で、アークランド・サカモト(株)の会長を務めておられます坂本洋司さんが三条市へ1億円を寄付されました。三条市は、このご寄付で「三条市アークランド・サカモト株式会社障害者福祉基金」を設立し、息の長い障害者支援に活用することにしました。

今年は、5月に96歳で亡くなられたお父様の坂本守夫氏が創業されてから60年、また、坂本洋司さんが70歳になられたという節目の年とのこと。5月のお通夜での喪主の挨拶の中、戦後の道のりを話されたことを思い出しました。三条を代表する日本のホームセンターの会社として大変意義のあるこの立派なご行為に三条南クラブを代表して深く感謝申し上げます。

本日は、三条ロータリークラブ（三条RAC）について少しお話させていただきます。

私が会長に就任して間もなく、7月7日、三条RACの例会に市内4クラブの関係者が招待され、私は永桶新世代奉仕委員長と出席致しました。その日は、三条RACの新年度第1回目の例会で、RAC会員11名の内6名と招待者6名の12名のささやかな会合でした。

会場は、越前屋ホテル（通常例会場はリサーチコアですが）、PM7:30例会開始。我々ロータリーの例会進行と共通点がいくつかありますが、新会長の斎藤智子さんの挨拶は私より数段上手い！！

我々ゲストの紹介に始まり、メンバー紹介、その後、活動報告・幹事報告・会計報告・委員会報告・ゲストからの質疑応答、そして最後に記念写真を撮り、9時終了。第1回目の例会のため、多くのプログラムで時間を費やしましたが、配布された10枚の資料や例会時のRAC会員の言動を見て、その真面目さや一生懸命さが伝わり、感心致しました。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー [インド]

第2560地区ガバナー 石本隆太郎 [新潟]

第4分区AG 山田文雄 [見附]

会長 鈴木園彦

幹事 熊倉高志

S A A 吉井正孝

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

9 時過ぎからの「夕食会」でも和やかな中意見交換を行いました。時代の流れに、三条市周辺のRACの解散や休会、三条RACも会員の減少が続き、心が折れそうな時もあったが、親クラブの三条ロータリークラブの大きな支えで今日までやってこられたこと、6 月に 40 周年記念式典を関係者の方々の協力のお蔭で無事に終えたことに大変感謝しておりました。2011～12 年度（第 41 代）のターゲット、基本方針、年間活動計画をご紹介します。RACのひたむきな活動を評価いただければと思います。毎月 2 回第 1、第 3 木曜日 PM7：30 から例会を開催しております。機会がございましたらぜひ三条RACへもメイクアップなさってみてください。

第41代 2011～12年度ターゲット

譲葉～譲り、譲られ繋ぐ想い～

ロータリーアクトは出会いの場。
様々な年齢、様々な職業、様々な考えを持つ
人が集まり、共に行動します。

そして、その行動によって得た知識・経験を新しい世代に譲ることで、目に見えない様々な想いがクラブ内で受け継がれていきます。

譲られたものはプラスとなり、クラブの土台として積み重なります。譲られるものが多いほどクラブの持つ可能性は広がります。

私たちは、ロータリアンの指導のもと、人間力を開発し、出会いを通じて多く学ぶ。そして、多くを譲られ、また譲ることで想いを未来へ繋いでいこう。

基本方針

1. 老若男女を問わず、幅広い世代と交流を持とう
同じ年代の会員同士、意見交換ができるのはロータリーアクトの利点のひとつです。しかし、私たちはもっと成長するために老若男女問わず交流を持ちましょう。子供から学べること、お年寄りから学べることはまったく違います。幅広い年代と出会い、会話することで世の中の人々が求めているものを知り、次の活動に繋げるとともに、人間性を深めていきましょう。

2. ロータリアンとの絆を深め、ロータリアンの想いを受け取ろう
ロータリアンの皆様がアクトを支援してくれるのはなぜでしょうか。またどんな期待を寄せてくれているのでしょうか。支援してくださる方の想いを知ることは、活動の上での原動力となります。私たちは活動を通してロータリアンとの絆を深め、アクトに寄せる想いを受け取り、その想いに応えるべく活動しましょう。

3. 若い世代の会員を増やそう
いくら良いものを築き上げ、それを譲って繋げていこうと思っても、それを引き継ぐ人がいなければどうにもなりません。それを防ぐためにも、新人会員、特に若い世代の会員を積極的に増やしていきましょう。そのためにはメンバーひとりひとりがアクトの魅力をアピールできなくてはなりません。アクトの活動を楽しみ、会員増強イベントのときには、その楽しさを一人でも多くの人に伝えられるようにしましょう。

重点目標『土台づくり』
現在三条クラブには 3 名の会長経験者がいます。そんな今だからこそ、土台づくりができるのではないのでしょうか。次の時代にプラスを譲ることはあっても、マイナスを譲ることがあってはなりません。会員全員が成長でき、なおかつアクトを精一杯楽しめる土台を築いていくことが今最も必要なことと考えます。

例会及び地域貢献委員会年間スケジュール予定	例会内容		クラブ活動	地区等行事
	7 月	① 所信表明（懇親会） ② 担当例会	海岸清掃 地引網（児童）	会長幹事会議
	8 月	① 担当例会 ② 三条 RC 卓話	キャンプ（児童） 会員増強イベント	地区行事
	9 月	① 担当例会（月見例会） ② 担当例会	BBQ	アクト日
	10 月	① 担当例会 ② 担当例会	ボウリング大会（長久の家） さわやかドライブ	会長幹事会議
	11 月	① 担当例会 ② 三条南 RC 卓話	座禅	地区大会
	12 月	① 担当例会 ② 担当例会（クリスマス例会）	お菓子交流（児童）	
	1 月	① 担当例会（新年会） ② 担当例会	餅つき（長久の家）	地区行事
	2 月	① 担当例会 ② 三条東 RC 卓話	介護施設訪問	会長幹事会議
	3 月	① 担当例会 ② 担当例会	年度末旅行 介護施設訪問	全国研修会
	4 月	① 担当例会 ② 担当例会（花見例会）	RC クリーン作戦 介護施設訪問	会長幹事会議
	5 月	① 担当例会 ② 三条北 RC 卓話	三条祭り 介護施設訪問	
	6 月	① 担当例会 ② 担当例会 次年度会長		大納会

幹事報告



熊倉 高志 幹事

○石本ガバナー事務所より 12月ロータリーレートのお知らせ

12月1日より 現行と同じく 1\$=78円

○三条市都市計画課内 五十嵐川を愛する会事務局より「五十嵐川を愛する会関係団体交流会」のご案内

＜日時＞ 12月6日（火） 18:00～

＜会場＞ 三条ロイヤルホテル

※野中社会奉仕委員長出席予定

委員会報告



忘年家族会のご案内

と き 平成23年12月19日（月）18:30～
ところ ハミングプラザVIP 2F オーロラ
会 費 会費 3,000円 ご夫人 2,000円

ご案内とご協力のお願い

当日は、参加者全員にもれなくプレゼントがもらえる！楽しいゲームを企画中です。

つきましては、皆様に遊休品等の提供をお願いしたいと思います。決して高価なものは必要ありませんので、フット笑みのこぼれる様な心温まる品物をお寄せいただければ幸いです。ご協力の程よろしくお申し上げます。

★キャンセルは12月16日（金）PM5:00までに事務局までご連絡下さい。
それ以降につきましては、会費ご負担いただきます。

練りに練った楽しい企画を準備しております。是非奥様ご同伴でご出席下さいますよう、多くの皆様のご出席を委員会一同心よりお待ちしております。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～11月28日 13,000円
今年度累計 419,000円～

鈴木（囿）君 本日は、歴代会長卓話の日です。
菰澤喜一郎第32代会長、ご苦労様です。
よろしくお願い致します。

熊倉君 菰澤さん、本日の卓話よろしくお願い致します。

鈴木（武）君 昨日は、好天のもと、喜多方のラーメンを
久し振りに食べに行ってきた。1時
間半も待ったラーメンはやはり美味しい！

馬場（信）君 菰澤さんの思い出深い卓話を期待しています。

坪井君 菰澤さんの卓話、期待しています。

野中君 卓話、楽しみにしています。BOXに協力！

安達君、坂本君、田中君、長谷君、
馬場（一）君、船久保君、渡邊（光）君
BOXに協力致します。

Birthday 12月のお祝い



誕生日



会員誕生 11日 鈴木囿彦君

25日 大溪秀夫君

夫人誕生 5日 赤塚康子（寧）さん
19日 坂井洋子（範夫）さん

18日 嘉瀬弘子（修）さん
23日 坂本満寿子（洋司）さん

結婚記念 25日 野水孝男君・智恵子さん

* おめでとうございます *

温故知新 * 歴代会長卓話 VIII

「思い出すままに」

第32代会長
荊 澤 喜一郎 会員



前大溪会長の当クラブテーマ「温故知新」に副っての歴代会長卓話が引き継がれましたので、私も思い出すままに私のロータリー歴をお話させていただきます。

入会は、1974年7月でクラブ創立7年目、私が38歳の時でした。同期入会は故白倉修三さんと鈴木武さんです。私のスポンサーは故石川吉松5代会長と現名誉会員の馬場茂夫12代会長のお二人です。職業分類は、入会当時は1業種1名でしたので、父が鋸の製造していたことから「刃物製造」でした。現在は、「一般金物卸」に変更し、坂井範夫会長エレクトと同じ職業分類に属しております。

時のクラブ会長（7代会長）は、現名誉会員の佐藤譲さんで、幹事は相田明雄（10代会長）さんでした。当時、私は、月に10日間程を2回に分けて、東京・京浜方面に出張しておりましたので、毎週の例会に出席することはできないと入会を躊躇しましたが、「出席は60%以上なら良いでしょう」とのお話をいただきましたので、何とか頑張ってみようと思い、計算しながら例会出席しておりました。入会時のガバナーは中条RCの馬場金太郎氏で、その公式訪問の折に、一人一人の名前を呼ばれ、出席率についてご指導を受けました。私の時に、出席率が約60%位でしたので、「ん…60%か、まっいいや。若いからな…」と言われました。そんなことから「出席率は大切なのだな」と思い直し、東京・横浜等のロータリークラブにメークアップをし、それから現在までの37年間連続100%出席を果しております。自己管理と健康でなければ出来なかったことと振り返り、諸々に感謝をしております。

1999～2000年度に会長を務めました。幹事には入会4年目の佐藤嘉男さんをお願いし、会社も忙しく大変ご苦労されたことと思いますが、見事に両立してご協力をいただき、大過なく役割を全うすることができました。そして、全てにおいて会員の皆様のご協力の賜物と感謝を致しております。

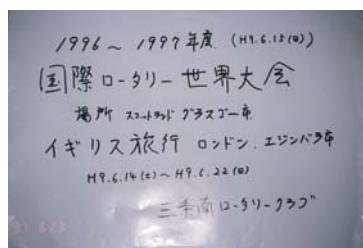
毎年、世界のどこかの国々で開催されております「国際大会」に3回参加しております。

最初は、1978年5月の「国際ロータリー1978年東京国際大会」。当時の相田明雄10代会長とその年度の長谷川孝幹事は任期半ばで退会されましたので丸田肇一副幹事が代行されており、相田さん、丸田さんを始めとする11名の皆さんと共に参加しました。横浜中華街での宿泊で、楽しい時間を過ごしました。

2回目は、鈴木武29代会長、吉井正孝幹事年度、1997年6月、イギリス・グラスゴーで開催された「国際ロータリー1997年スコットランド・グラスゴー国際大会」に6名で参加致しました。

6月14日新潟空港を出発、エジンバラに3泊、ロンドンに3泊、ソウルに1泊し22日に新潟空港着の内容の充実した旅でした。

エジンバラからバスでおおよそ2時間かけ、国際大会の開会式に参加。エジンバラ市内観光を始め、ゴルフ発祥の地と言われている「セントアンドリュース」をタクシーで廻りました。この街は古くからの学園都市でした。



国際大会会場にて



ケンブリッジ大学に向かう
ロンドン駅にて

ロンドンでは、故田中孝幸 19 代会長の縁者の日本大学講師 伊藤さん（女性）にお世話になり、「オペラ鑑賞」やロンドンから快速電車で 40 分程の「ケンブリッジ大学」のキャンパスを案内していただきました。オペラは何を歌っているのか、何をしているのか全く理解できず、ただ目で追っているだけ、他の人が笑えば一緒になって笑う真似をする…そんな一時でした。ケンブリッジ大学の講堂の見学が有料なのには驚きました。その他地下鉄や二階建てバス、有名なレストランにも連れて行っていただき、自分達だけでは到底知りえない経験をし、大いに見聞を広めることができたことは貴重な思い出です。

3 回目は、2004 年 5 月に大阪で開催された「国際ロータリー 2004 年関西大阪大会」に三条市内 3 ロータリークラブ合同での 2 泊 3 日の参加旅行、当クラブからは 15 名の参加でした。国際大会開会式を早々に切り上げ（反省点も多々ありましたが）、鳴門大橋を渡り四国香川県の琴平神社を参拝、琴平温泉に 1 泊。2 日目は神戸に宿泊し、最終日は岡山の古い町並み、姫路城を散策致しました。どこも皆素敵な名所でした。

また、当クラブは国際奉仕委員会の旗振りで、毎年度のように海外旅行が計画されてきましたので、その旅行にも数回参加致しました。

1985 年 シンガポール研修旅行、1987 年 台湾（台北）研修旅行、1989 年 タイ・バンコクと古都チェンマイの旅（これは私が国際奉仕委員長）、1994 年 アメリカ西海岸とラスベガス・グランドキャニオンの旅、1996 年オリエント急行によるヨーロッパの旅（ベネチア・パリ）、1998 年 大自然ニュージーランドの旅では、秋の北島と南島を観光し、ホテルの向かいのコースで出発時間までゴルフ（ハーフ）を楽しみ、また、真っ暗闇の原野で南十字星を仰いだことが思い出されます。そして、2000 年 私の会長時代には、長谷川晴生国際奉仕委員長の計画の下、「シルクロード敦煌・西安の旅」には 15 名の参加をいただき、世界文化遺産・中国三大石窟「莫高窟」、シルクロードの拠点「秦始皇帝兵马俑」等々を訪れました。どの旅も素晴らしく、楽しい思い出でいっぱいです。

2008～09 年度・馬場信彦ガバナー年度は指名により地区幹事や地区史編纂委員を務めさせていただきました。また、昨年度・東山昶也ガバナー年度にはクラブからの推薦を受け、第 4 分区アシスタントガバナーを務め、分区内 11 クラブの各クラブ 4 回の訪問を始め、吉井ロータリー情報委員長、佐藤嘉男副委員長のご協力をいただき、「ロータリーミニダイジェスト」を再編、製作し、2560 地区 57 クラブ約 2,000 名のメンバーに配布することが出来ましたことは、当クラブの名誉と自負しております。

当クラブ創立 44 年、50 周年に向かって会長・幹事を先頭に楽しいクラブ例会、奉仕活動に邁進し、ますますの発展を祈念し、32 代会長の話を終わらせていただきます。



ロータリー・ソング

ロータリー・ジャパンより <http://www.rotary.or.jp/>

日本のロータリアンの多くは、クラブの例会へ出かけ、そこで「いつものように」ロータリー・ソングを皆で歌っていることでしょう。このロータリー・ソングについてご紹介します。



「手に手つないで」は外国のロータリアンにも好評（2005 年国際協議会にて）

初めてのコーラス

ロータリーにおいて、一世紀を超える「歌を歌うということ」、を始めた人は、1905 年にロータリーが創立したとき、最初に会員となった 4 人に次いで、5 番目にロータリーに入った人、ハリー・ラグルス（Harry Raggles 1871～1959）です。1905 年、アメリカのシカゴでロータリーは生まれましたが、その折、創始者ポール・ハリスと、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ローアら 4 人の集いに加わり、5 人目の会員となったのが職業分類・印刷業のハリーでした。

シカゴロータリークラブ（RC）の会員になったハリーは、ポール・ハリスの評によると一見無愛想で、クラブ入会の紹介時には「果たしてクラブに入って、ロータリーの友好を実現できるだろうか」と内心危ぶまれたほどの人だったようです。実はハリーはもともと歌うことが大好きな人でした。

もっとも、今世紀初頭の欧米では「歌を歌うこと」「コーラスすること」は、人々のごく一般的な風潮でしたので、彼が特に変わった趣味をもっていた、というわけではありません。

産声を上げたばかり、1905年のロータリークラブの、ある秋の日の夜の例会について『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』（P30）には、以下のように記されています。

「1905年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが突然止んだ。警告もなく、ハリー・ラグルスが自ら立ち上がって「おい、みんな、歌おう！」と当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌った。以来、例会での合唱は、ロータリーの伝統となった」

これが、ロータリーの例会で歌を歌った最初のシーンです。しかし、このとき歌われたのは、いわゆるロータリー・ソングではなく、当時の流行歌でした。

いつもコーラス

さて、ロータリー誕生後2年目には、ささいな意見の相違がだんだん大きくなり、シカゴクラブ内が割れ、出席率も低下するという事態が起こったようです。

そこで、当時シカゴRCの幹事であったウィルR.ネッフ医師が、ハリー・ラグルスと協議しました。「これがもう1か月も続けば、クラブは解散してしまうだろう」とネッフは悲しそうにハリーに言い、続けて「私は、君が毎週立ち上がって楽しく歌うことにしたらどうか、と思う」と言った、というような記録が残っていると、笹部誠パストガバナー（1964-65年度・川崎RC）が『友』誌（初載は1971年4月号、2002年9月号に転載）に記述しています。

その結果、ハリーの指揮による歌声が、毎回クラブの例会で響くようになり、いつのまにかクラブの中の雰囲気は改善され、シカゴRCは解散の危機を脱していたそうです。歌が、人々の心を結んだのです。

その後、ハリーの指揮は恒例のものとなりました。再び『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』（P30）から引用します。

「今日でも、シカゴロータリークラブの古参会員から話を聞くことができる。会長が開会の辞を述べると、シャーマン・ホテルの大広間が真っ暗になる。すると暗闇を突き抜けて1本のスポットライトが西側バルコニーの瘦せた男に当たる。部屋中が期待に息を呑む中で、ハリー・ラグルスが両手を上げて叫ぶ：「さあ、みんな、歌おう！」そして皆が歌い出すのだ、と。ハリーは所属クラブでも、全米の地区大会でも、国際大会でも歌の音頭を取った。しかし、1959年10月23日、卓話者として招かれたカリフォルニア州カシードラルシティロータリークラブの例会に向かう途中で心臓発作を起こし、54年間にわたりロータリーに歌と太陽をもたらしたその声をもはや聞くことはできなくなった」

世にコーラスの風潮はあふれていても、例会という集いの中で定期的に歌を歌うことを、積極的に続ける形式は、当時新鮮なものでした。深い意識はなかったかもしれませんが、シカゴロータリークラブのハリー・ラグルスの行為は、歌という親睦に偉大な効果を発揮する、微妙な結合剤をロータリーに提供したことになりました。

また、歌われる歌曲もだんだん決まってきたので、印刷業のハリー・ラグルスは、1910年にはロータリー・ソングブックの第1号の出版もしています。以後それは版を重ね、ロータリアン間に普及していきました。

日本でのロータリー・ソングについては次週へ

12月5日ロータリー・ソング

奉仕の理想	元京都RC 作詞 前田和一郎 作曲 萩原 英一
奉仕の理想に集いし友よ	
御国に捧げん我等の業 なりわい	
望むは世界の久遠の平和	
めぐる歯車いや輝きて	
永久に栄えよ	
我等のロータリー	
ロータリー	

次週例会 12月12日 通常例会 卓話 銅冶 康之会員 於：VIP

次々週例会 12月19日 夜例会 「忘年家族会」 18:30～ 於：VIP



表紙について

坂本洋司君

[1941(昭和16)年7月13日生]

○7月13日・この日何の日？

・日本標準時制定記念日：東経135度の時刻を日本標準時と定める勅令公布（1886年）

・生命尊重の日：「優生保護法」（現在の「母体保護法」）公布（1948年）

○7月13日・この日誕生は？

ハリソン・フォード（米：俳優『インディ・ジョーズ』1942年

三條南ロータリークラブ週報

2011.11.28

No.2017 No.17